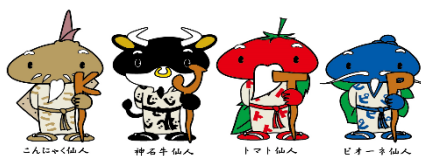


企業版ふるさと納税 寄附対象事業のご紹介

令和7年度版



～魅力 ぎゅうぎゅう 神石高原～

寄附の対象となる事業は？

「神石高原町デジタル田園都市構想総合戦略」 に位置づけられる事業

「神石高原町デジタル田園都市構想総合戦略」では、次の4つの基本戦略に基づく取組を進めることで、人口減少の抑制を図っていきます。

基本戦略① 子育てしやすいまちづくり	1. 出産・子育て環境の充実 2. 出産・子育てへの経済的支援 3. 将来を担う人材育成
基本戦略② 地域産業の振興によるまちづくり	1. 地域産業の振興
基本戦略③ 移住・定住促進によるまちづくり	1. 移住・定住の促進
基本戦略④ 安心して暮らせる持続可能なまちづくり	1. 住みやすいまちづくり 2. 活力あるまちづくり 3. DX推進によるまちづくり

子育てしやすいまちづくり

～出産・子育て期の切れ目ない支援～

子育てしやすいまちづくりをめざし、妊娠、出産から子育て期に切れ目ない支援を行い、こどもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組み、少子化の流れに歯止めをかけます。

また、将来を担うこども達の可能性と選択肢を広げる教育や国際的な視野を持ち、自ら考え行動できる人材育成教育を行うことで、本町での子育てを希望する人の増加をめざします。

【具体的な事業】

- ・海外交流体験・英語教育の充実
- ・親と子の居場所づくり
- ・多様な主体による人材育成支援
- ・町内唯一の県立油木高等学校支援 など

PICKUP①

注目①



基本戦略2

地域産業の振興によるまちづくり

～地域活性化と雇用の創出～

地域経済の活性化に向けて、基幹産業である農業分野では、「赤と黒のプロジェクト」を中心に振興を図り、更なる生産の拡大を目指します。また、従事者の高齢化による後継者不足や耕作放棄地の増大を抑制するため、農地の集積・集約化やスマート農業を推進し、持続可能な営農体制の確立、強化を図ります。

商工業分野では、安定した雇用創出を図るため、積極的な企業誘致を進めるとともに、サテライトオフィスの拡充や起業支援などにより、受け入れ環境の整備を進めます。

【具体的な事業】

- ・営農体制の確立、強化
- ・赤と黒のプロジェクト推進
- ・企業誘致の推進と起業支援 など

PICKUP②



移住・定住促進によるまちづくり

～移住・定住の促進～

「しごと・住まい・暮らし」などの情報を一元的に発信する移住に関する総合的な相談窓口を設置し、住んでみたい(Iターン)、いつかは地元に戻りたい(Uターン)若年層をはじめとする現役世代の移住・定住の促進に向けた取組を進めます。

併せて、子育て世代や若者向け住宅の整備を進めるとともに、住宅取得支援や増加する空き家活用に対する各種支援制度の充実を図ります。

【具体的な事業】

- ・移住・定住情報の発信
- ・空き家バンク運営
- ・移住促進・空き家活用支援 など



基本戦略4

安心して暮らせる持続可能なまちづくり

～持続可能なまちづくり～

住民一人ひとりが安心して暮らせる持続可能なまちを目指し、住民自治組織やNPO法人をはじめ、まちづくりを担う多様な主体と連携し、協働と補完によるまちづくりを推進します。また、多様化する住民ニーズや社会課題に対し、官民・公民連携を積極的に進めることで諸課題の解決に繋げていくとともに、NPO法人など、地域活性化に資する活動を行う団体を支援します。

また、いつ起こるか分からない災害への備えなど、安心して暮らせる地域防災力の向上を目指します。

人口減少により縮小する中でも、充実した地域社会となるようDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進と先端技術の活用により、持続可能なまちづくりを進めます。

【具体的な事業】

- ・ICT(情報通信技術)の活用
- ・官民・公民連携による地域活性化の推進と団体支援
- ・地域防災力の向上 など

PICKUP③

注目②



神石高原町のPICKUP！

・将来を担う人材育成



英語教育・海外交流体験推進事業

PICKUP①

神石高原町では、本町らしい特色のある教育が展開されるまちをめざし、教育環境の整備に取り組んでいます。その取組の一つとして、「英語教育・海外交流体験推進事業」を進めており、グローバル化が進展する中で、英語でのコミュニケーション力を育み、世界に通用する人材の育成に努めています。神石高原町ならではの取組として推進することで、児童・生徒の可能性と選択肢を広げて、子どもたちの挑戦を応援します。



町内唯一の高校魅力化推進事業

少子高齢化が急激に進む神石高原町にとって町内唯一の高校である県立油木高等学校は、地域に活力をもたらし、非常に大きな存在となっています。本町の推進する高校魅力化支援事業は地元の油木高等学校の存続に向けた高校の魅力化を図るため、地域の文化や産業など、神石高原町ならではの教育環境を活かし、生徒一人ひとりの能力や可能性を伸ばし確かな学力の定着を目指すとともに、ふるさと神石高原町を愛する心や町の未来を拓く生徒の育成に取り組めます。



・地域産業の確立



赤と黒のプロジェクト推進

PICKUP②

神石高原町の基幹産業である農業の更なる活性化に向けて、特色ある資源や環境を活かした取組として「赤と黒のプロジェクト」を推進しており、トマト、ぶどうの園芸産地化や和牛のブランド化を進めています。農産物の更なる生産拡大を図りながら、ブランド化の推進、生産量の維持と増加に向けた新規就農・規模拡大などに取り組めます。



・DX推進によるまちづくり



デジタル技術を活用した健康づくり事業

PICKUP③

町民の2人に1人が高齢者である神石高原町は、今後も高齢化が進み続けることが予想されます。神石高原町が元気で、活気あふれる持続可能なまちとして存続し続けるために、デジタル技術を活用し、楽しみながら健康づくりとフレイル予防に取り組めます。地域全体の健康意識を向上させ、一人ひとりの健康寿命を延ばす取組を推進することで、健康長寿のまちをめざします。



・活力あるまちづくり



高齢難聴者のコミュニケーション補助事業

高齢化が進む神石高原町では、住民一人ひとりが個々の能力を生かしながら自立して生活できる環境整備が重要です。加齢に伴う難聴は、認知症のリスクを高める要因の一つとして考えられており、高齢者の社会的孤立を招く恐れがあります。補聴器購入費用の一部を補助することで、円滑なコミュニケーションに重要な聴力を補い、社会参加や地域交流を促し、活力あふれるまちづくりを推進します。



PICKUP①

「子育てしやすいまちづくり」

英語教育・海外交流体験推進事業

4 質の高い教育を
みんなに



【令和7年度寄附目標額】 6,970千円

【キーワード】 将来を担う人材育成

世界で活躍する人材を育てる教育を推進します！

【事業概要】

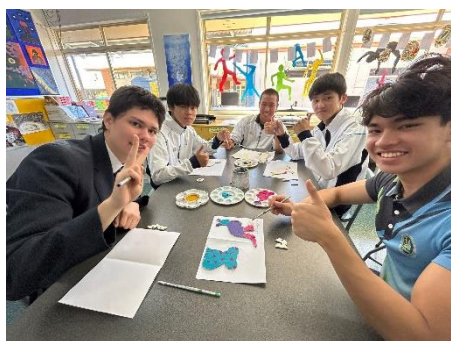
神石高原町では、本町らしい特色のある教育が展開されるまちをめざし、教育環境の整備に取り組んでいます。その取組の一つとして、「英語教育・海外交流体験推進事業」を進めており、グローバル化が進展する中で、英語でのコミュニケーション力を育み、世界に通用する人材の育成に努めています。神石高原町ならではの取組として推進することで、児童・生徒の可能性と選択肢を広げて、子どもたちの挑戦を応援します。



イングリッシュデイキャンプ

【主な取組】

- ・ 英語暗唱・弁論大会の開催
- ・ 英語検定受検料補助(TOEIC・TOEFL・IELTS)
- ・ 小中高イングリッシュデイキャンプの開催
- ・ 中学生海外交流支援事業
- ・ オンライン英会話の実施 など



オーストラリア研修

【寄附金の使途】

将来を担うこども達の可能性と選択肢を広げる教育や国際的な視野を持ち、自ら考え行動できる人材育成に係る取組に充てさせていただきます。

【寄附検討企業の皆様へ】

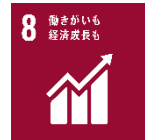
神石高原町では、本町ならではの取組を推進して子育て環境の充実をはかるため、将来を担うこども達の可能性と選択肢を広げる教育や国際的な視野を持ち、自ら考え行動できる人材育成教育を推進しています。世界で活躍する人材を育てる教育を展開していくため、事業を持続的に運営するための財源を企業版ふるさと納税で応援していただきたいと思います。

PICKUP②

「地域産業の振興によるまちづくり」



と黒のプロジェクト



【令和7年度寄附目標額】50,000千円

【キーワード】 地域産業の振興

【事業概要】

神石高原町は高原特有の標高の高さから昼夜の寒暖差が大きく、その気候を活かした品質の高いプレミアムな商品が数多くあります。その中でも、トマトやぶどう、幻の和牛といわれる「神石牛」のブランド化などに力を入れています。

本町の基幹産業である農業の更なる活性化に向けて、特色ある資源や環境を生かした取組として「赤と黒のプロジェクト」を推進しており、トマト、ぶどうの園芸産地化や和牛のブランド化を進めています。しかし、高齢化や人口減少が急激に進む本町において、同時に生産者の高齢化も進み、生産量も横ばい状況が続いており、更なる出荷量の減少が危惧されています。農産物の更なる生産拡大を図りながら、ブランド化の推進、生産量の維持と増加に向けた新規就農・規模拡大などに取り組めます。



和牛「神石牛」



まる豊トマト



トマト団地

【主な取組】

- ・ 小規模団地整備の導入によるトマト産地の拡大
- ・ 規模拡大による経営安定と市場への販売促進による神石高原まる豊トマトのブランド化
- ・ ぶどう(ピオーネ)ブランドの確立
- ・ 集落法人や新規就農者を中心としたぶどう栽培面積と生産量の拡大
- ・ 和牛神石牛のブランド化の推進

【寄附金の使途】

トマト、ぶどう(ピオーネ)、神石牛の更なる生産拡大を図るために、ブランド化の推進、生産量の維持と増加に向けた新規就農、規模拡大等に係る取組に充てさせていただきます。

【寄附検討企業の皆様へ】

本町は人口減少の進行など多くの課題に直面していますが、「小さいながらも健康で豊かさと幸せを実感できるまち」をめざして、皆様のお力をいただきながら「赤と黒のプロジェクト」をはじめ、地方創生に向けた施策を進めてまいりたいと思っております。皆様からの御支援をお待ちしております。

PICKUP③

「安心して暮らせる持続可能なまちづくり」

デジタル技術を活用した健康づくり事業



【令和7年度寄附目標額】11,910千円

【キーワード】DX推進によるまちづくり

健康長寿のまちをめざします！

【事業概要】

町民の2人に1人が高齢者である神石高原町は、今後も高齢化や人口減少、医療・介護従事者側の高齢化・人手不足が進むことが予想されます。高齢化が進むことで、医療費・介護給付費などが増加し、町の財政が圧迫される事態につながりかねません。神石高原町が元気で、活気あふれる持続可能なまちとして存続し続けるためには、デジタル技術を活用して、健康なうちから住民の健康意識を啓発する取組により行動変容を促進するなど、“予防”を重視した医療体制づくりが重要と考えます。

本町が推進する「デジタル技術を活用した健康づくり事業」は、歩くことで健康ポイントを貯めることができ、貯めたポイントは電子マネーと交換ができる仕組みであり、楽しみながら健康づくりとフレイル予防に取り組めます。地域全体の健康意識を向上させ、一人ひとりの健康寿命を延ばす取組を推進することで、健康長寿のまちをめざします。



「健康マイレージ」アプリ



ウォーキングを楽しく続けて
「健康で長生き」をめざす！



【事業実施による目標】

- 健康寿命(男性) 81.61歳以上(令和11年度)
- 健康寿命(女性) 83.92歳以上(令和11年度)

【寄附金の使途】

いただいたご寄附は、「健康長寿のまち」を目指して取り組む当該事業の運営に係る経費に充てさせていただきます。

【寄附検討企業の皆様へ】

高齢化・人口減少が急激に進む神石高原町では、住民一人ひとりの健康寿命の延伸がとても重要であると考えます。健康長寿のまちをめざして「デジタル技術を活用した健康づくり事業」を継続して実施したいと考えており、事業を持続的に運営するための財源を企業版ふるさと納税で応援していただきたいと考えています。

神石高原町の注目ポイント！

神石高原町では、地域活性化に資する取組を行う団体を支援団体として認定し、企業版ふるさと納税の寄附金を活用して団体活動を支援することで、本町の社会課題の解決を図ります。

注目① 多様な主体による人材育成支援

学校法人神石高原学園

神石インターナショナルスクールは、日本初の全寮制の小学校として、日本はもちろん、アジア各国の子どもたちが、グローバルに活躍するために必要な経験と知的好奇心を満たす環境を用意して、2020年4月に開校しました。

24時間体制で子ども達一人ひとりをサポートし、子ども達の可能性と未来に寄り添います。

【具体的な事業】

- ・神石インターナショナルスクール運営事業

注目② 官民連携による地域活性化の推進と団体支援

一般社団法人福山シティクラブ

福山市を中心とする約85万人の備後圏エリアからJリーグに参入するという大きな目標を掲げており、実現したいビジョンに向けて人材育成などに取り組んでいます。

スポーツを通じた地域振興や社会教育の進行を図り、地元油木高校の存続や地域のにぎわい創出などをめざします。

【具体的な事業】

- ・福山シティFC U-18(ユース)誘致・運営事業



NPO法人ピースウィンズ・ジャパン

1996年に設立され、世界各国で、紛争後の難民支援、自然災害の被災者の支援などに携わっています。また、過疎地の地域振興や動物愛護などの分野にも活動を広げ、「社会変革」をキーワードとして、行政と連携しながら民間の力を公益の実現に生かす新たなしくみづくりに力を入れています。

【具体的な事業】

- ・ピースワンコ・ジャパンプロジェクト
- ・ARROWS(災害緊急医療×地域医療)事業



NPO法人天空未来塾

地域の活性化を目的としたイベント、子育て世代向けの健康増進を目的としたスポーツ教室や子育て支援に関する講座、交流会等の企画・運営・開催に関する事業を行い、地域の活性化、観光の振興及び町民の健康増進を図り、公益に寄与することを目的として活動しています。

【具体的な事業】

- ・観光の振興及び町PRによる関係活動人口増加事業